

## 活動状況報告書（2月分）

スポーツコース 佐藤 弘也

1月15日から始まっている Neuphysio Rehabilitation での研修も約半分が終了した。ここでは車いすカーリングカナダ代表理学療法士の Sari 氏、Alysia 氏を中心に数人の理学療法士の臨床見学を行っている。先月と同様に文化や医療制度の違いから多くの新たな視点を得ることは多い。さらに学びを得たところはスタッフミーティングのスタイルだ。ポジティブな共有事項が多く、若いスタッフからの発言もしやすいように工夫されているように感じた。

車いすカーリング競技においてはオンラインで NATIONAL WHEELCHAIR CURLING PROGRAM の選手とのオンラインミーティングや理学療法士による怪我の予防やケアなどの講義に参加させて頂き、遠隔でサポート体制やシステム、内容についても理解を深めることができた。

2月上旬にはロンドン市での車いすカーリングカナダ代表の合宿に参加させて頂いた(写真1、2)。氷上での試合形式の練習や世界選手権に向けてのミーティングにも一部参加させて頂いた。加えて試合形式の練習ではカーリングのストーンを出す石出しの手伝いをさせて頂き、実際の試合での選手間、選手とコーチ間のコミュニケーションを、選手のすぐそばで聞くことができ貴重な経験させて頂いた。実際に世界選手権開催の1ヶ月を切ったところでの合宿であり、明確な合宿の意図や目的を持って取り組んでいる姿勢に感銘を受けた。

さらに、合宿中にクリニックで選手と理学療法士との関わりを見せて頂いた。実際の選手とのコミュニケーション、理学療法士の手技や関わりが見ることができ自分が今後活動する上で最も収穫の大きい経験となった。

2月も多くの充実した時間を過ごさせて頂いたが3月から始まる世界選手権の直前の緊張感や雰囲気を感じることができたのも貴重な経験であったと考える。



写真1、2：車いすカーリングの合宿の様子